

# 山恋い

2018年号外

埼玉大学ワンダーフォーゲル部 OB 会

## ご挨拶

埼玉大学ワンダーフォーゲル部 OB 会

会長 高崎 実

(昭和49年卒部)



皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、さっそくですが、皆様にOB会の現況と今後につきましてご説明申し上げます。一昨年11月に創部60周年記念パーティーを実施させていただきましたが、当会は以下の問題に直面しております。

- 1) OB会の担い手がない。
- 2) OB会費の徴収ができない。
- 3) 当会の唯一の有形資産である「二居山小屋」が負の遺産となりつつある。

現在、OB会は昭和49年卒の私(OB会長)と羽持君(幹事長)及び平成元年卒の永坂さん(会計担当)、平成14年卒の花田夫妻(山小屋担当)、平成15年卒の林君(会報及びホームページ担当)が実質切り盛りしておりますが、特に若い方々は非常に多忙であり、このメンバー全員が集まることすら容易ではありません。

私も既に会長就任後10年になる為、どなたか若い方に会長就任をお願いしたいと考えておりますが、残念ながら会長どころか新たに役員を引き受けてくれる人は見当たりません。

私が社会人になった頃は、何かまだ世の中に余裕があったと言うか、少なくとも将来に対する不安などありませんでしたが、90年代の後半から大企業の経営難が表面化し(私が勤務していた会社も平成11年に経営破たんしました)、社会の秩序が変わり始めました。

その結果、各企業は年功序列から実力主義に変わり、社会全体がアメリカ型の格差社会に移行しつつあります。

一方で、人口減と国民の高齢化も進み、国の社会保障制度の維持が難しくなり、現在の50代以下の人達は将来親の介護や自身の年金について大きな不安を抱えて生活しております。

このような状況下、若い方々は余り余裕の無い生活を強いられており、OB会活動などやってられないと言うのが本音だと思います。

また、OB会費(年2千円)の徴収ですが、以前は会報「山恋い」で会費納入のお願いをしておりましたが、これにに応じていただいた方は年間で数名にすぎず、他にJCBカードの自動振り替えに登録された方々が約60名いらっしゃいましたので、年間徴収額は約20万円ほどでした。

しかし、会報発刊だけでも約20万円程度の費用がかかり、更に山小屋修繕支援金などもあり、毎年の会計収支は厳しく、ついに会報は郵送せず、ホームページに掲載することとなり、更に昨年は我々役員が多忙を理由に会報の制作自体も止めてしまいました。

これに追い討ちをかけるようにJCBカードでの会費徴収が今年から出来なくなりました。これは、もともとJCBに勤務していた青木さん(昭和48年卒)と矢部さん(昭和54年卒)の特別な計らいにより継続してきましたが、青木さんは既にお亡くなりになり、矢部さんは昨年JCBを退社された為、継続出来なくなったものです。

以上の問題は、OB会の活動を休止すれば済む話ですが、私が最も心配していることは、二居の山小屋の問題です。この点については2015年(平成27年)春号で皆様にご連絡済みです。

平成26年に屋根部分の改修工事を行い当面の耐久性は確保されておりますが、今後、維持修繕の為に費用を要します。また、山小屋を利用する人も殆どおりません。

山小屋の所有者(正確には、山小屋の建物は未登記となっているので、土地の所有者となります)は当会が法人格を持っていないので、中村先生個人から前OB会長の大前さん個人に引き継がれたままとなっております。

一方、湯沢町役場からの固定資産税の請求先は「埼玉大学学生課ワンダーフォーゲル部山小屋管理委員会」となっています。前述の通り当会の存続自体おぼつかない状況で、このまま放置しておけば固定資産税(年19,100円)の

未納や山小屋が廃屋化し環境面から問題になる恐れもあります。

その場合、当会に当事者能力なければ最終的に大学にご迷惑をおかけすることになります。その為にもこの問題を先延ばしせず、今しかるべき対策を講じる必要があります。

このような考え方にに基づき、当会では山小屋を他者に譲渡することを検討してまいりましたが「山小屋譲渡決議のお知らせ」の通り若手OBの花田夫妻に譲渡することが決定いたしました。

現在、当会の中心となっている私と羽持君は、古希(70才)の域に近づいており、後継者もないことを考慮し、今後当

会は会報の発刊など実質的な活動を休止したいと思います。

ただし、出来る限りOB間の連絡網は維持しておきたいので「メールアドレス登録とホームページ活用のお願い」をご覧ください、ご協力お願い申し上げます。

また、OB会費については、本状郵送後残金が20万円程となります。

今後はホームページでの会費振り込みをお願いいたしますが、今迄のような年間20万円程度の最低限の会費は期待できません。

“先細り”状態は必須と認識しています。

皆様のご理解とご支援を、よろしくお願い申し上げます。

## 山小屋譲渡決議のお知らせ

2017年6月のOB会総会の決議に基づき結成した「SWV山小屋再生プロジェクト」は議論を重ね、2017年8月に「二居山小屋」の譲り受けの募集をSWVホームページやメールで、皆様へご案内いたしました。その結果、以下のOBの方からの申し出を受け、「二居山小屋」の譲渡(案)を決定いたしました。譲渡(案)は2018年6月のOB会定例総会にて、皆様の裁決を得て、最終決議をいただく予定とし、以下の通りお知らせいたします。

- 譲渡先は2002年卒部の「花田知大氏」「花田麗良氏」といたします。
- 対価は名目的対価1円(無償譲渡)といたします。
- 2018年3月31日現在の山小屋管理資金は譲渡先である花田氏に管理費用の支援金として、無条件でお渡しいたします。

\*その他詳細は添付の資料やSWVホームページをご覧ください。

埼玉大学ワンダーフォーゲル部OB会ホームページ  
<http://swvob.com/bulletin>  
 会員ログインID: hp-editor  
 PW: s31w05v2013



<資料> 次項に掲載

- 資料 ① 2017年6月SWV OB会総会での「二居山小屋」に関する決議事項のお知らせ
- 資料 ② 二居山小屋譲り受けの募集

<本件に関するお問い合わせ>

「SWV山小屋再生プロジェクト」  
 事務局 羽持 彰  
[akira509@green.ocn.ne.jp](mailto:akira509@green.ocn.ne.jp)  
 携帯電話 090-4915-0938

また、経緯の詳細についてのご意見やご質問等がございましたら、以下のプロジェクトメンバーにご相談いただければ幸いです。

### ■ プロジェクトメンバー

- プロジェクトリーダー / 高崎 實 (会長)
- プロジェクト事務局 / 羽持 彰 (幹事長)・林 正高 (副幹事長)
- プロジェクトメンバー / 花田 知大 (副会長)・東 克明 (副会長)・永坂 圭子 (会計)・  
 花田 麗良 (幹事)・大類 裕幸 (幹事)・荻野 泰男 (幹事)・  
 高岡 正彦 (監査)・大前 健三 (幹事)

(敬称: 略)

## 資料編 ①

### 『2017年度SWVOB会総会での「二居山小屋」に関する決議事項のお知らせ』

2017年6月3日(土)のOB総会にて第5号議案、第6号議案に関して以下の決議をしましたので、お知らせ致します。  
我々の精神的支柱である「二居山小屋の将来」のことになりますので、よろしくご一読をお願いします。  
また今後、この決議によって活動をする「SWV山小屋再生プロジェクト(仮)」のお知らせをメール、HPを通じて致します。ご意見を頂ければ幸いです。

第5号議案 SWV財政危機及びOB会休止の危機について  
第6号議案 山小屋関連報告(二居山小屋の今後)

#### ● 決議事項

以下の<OB会の将来と「二居山小屋」の維持困難>を共通認識したうえで、その解決策の立案を目的とした「SWV山小屋再生プロジェクト(仮)」を組成し、譲渡案を軸とした解決案を今年度中に結論化する。  
またそのプロジェクトメンバーや運営の詳細は会長・副会長・幹事長・山小屋理事(以下「執行部」という)に一任をすることを決議しました。

#### <OB会の将来と「二居山小屋」の維持困難>

今後のOB会の財政状況は2016年11月の60周年記念パーティ残金で一時的に回復をしたものの、JCBを利用した会費徴収も近い将来困難が予想され、極めて先細りの状態が続くものと予測されます。  
また、残念ながら若い世代でOB会の運営を積極的に担って行こうという人は僅かしかおりません。OB会の財政基盤を確立するとともに、OB会の活性化は今後の重要な課題ではありますが、的確な解決策の目処は立たないのが現状です。  
かかる状況の中でOB会活動を基盤としている「二居山小屋」の将来が大きな懸念としてここ二十年来の課題となっています。  
築40年余の「二居山小屋」の維持は現状でも極めて困難な中で、一部山小屋理事を始めとしたOB会員のボランティアに頼りながら維持しているのが現実であり、反面本来の山小屋設立目的であったSWV現役部活動に資するという目的は現役部員の減少と活動内容の変化に伴い全く無くなっています。  
ここ最近の現役部活動の山小屋利用は皆無となってしまいました。山小屋は唯一少数のOB利用と本来山小屋の維持メンテナンスのための例年9月の「山小屋祭り(ワーク合宿)」のみの利用となっているのが実情です。  
このまま何も対策を取らないでいると、何年後かに山小屋が廃屋化してしまうのみならず、山小屋の固定資産税も払えなくなるという事態を招く恐れがあります。  
この場合、最悪母校の埼玉大学にご迷惑をお掛けすることも考えられます。  
このような将来リスクを回避する為、執行部としては出来るだけ早く山小屋をどなたか(個人或いは団体)に無償譲渡したいと考えております。  
もちろんOBの皆様の中で山小屋を個人(或いはグループ)で所有したいという方がおられれば優先的に譲渡させていただきます。  
もし、そのようなOBが居られなければ縁故あるいは一般公募でどこかの山岳会などに譲渡先の対象を広げるつもりです。  
皆さまのご尽力により2015年の屋根ふき替え等、何回かの大規模修繕で当面の維持が来ている「今」が、今後を考える機会となっていると認識をしています。  
皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

以上

## 資料編 ②

### 『二居山小屋譲り受けの募集』

2017年6月のOB総会における「二居山小屋」に関する決議事項のお知らせの通り「SWV山小屋再生プロジェクト」は議論を開始しました。  
幸い某OBより既に山小屋譲り受けの申し出を内意としていただいております。  
つきましては以下の要領で他のOB・OGの方々からの「二居山小屋」の譲り受けの募集を行います。趣旨ご理解の上ご検討をお願いいたします。  
なお詳細に尽きましてはSWVOB会ホームページをご参照下さい。

SWVOB会ホームページ <http://swvob.com/>

記

■ 申し出締め切り期日 2017年10月31日  
■ 申し出方法 「SWV山小屋再生プロジェクト」事務局までお申し出下さい。  
事務局 羽持 akira509@green.ocn.ne.jp 電話 048-229-6418

また経緯の詳細についてのご意見やご質問等がございましたら、以下のプロジェクトメンバーにご相談頂ければ幸いです。

#### <プロジェクトメンバー>

プロジェクトリーダー 高崎 實 (会長)  
プロジェクト事務局 羽持 彰 (幹事長)・林 正高 (副幹事長)  
プロジェクトメンバー 花田 知大 (副会長)・東 克明 (副会長)・  
永坂 圭子 (会計)・花田 麗良 (幹事)・  
大類 裕幸 (幹事)・荻野 泰男 (幹事)・  
高岡 正彦 (監査)・大前 健三 (幹事)

以上

## ■ メールアドレス登録とホームページ活用のお願い

SWVワンダーフォーゲル部OB会OB、OGの皆様へ事務局からのお知らせです。  
2016年11月の「SWV60周年パーティ」をきっかけとし、SWVOB会の色々な情報発信はメールの活用とSWVホームページの充実に注力して参りました。  
お陰さまで多数のOB、OGの皆さまがメールアドレスの登録をしていただきました。  
このお知らせの郵送を機会に今後も更にメールの活用を促進いたします。  
この機会に以下の方法での皆さまのメールアドレスのご登録をお願い致します。  
\*SWV60周年パーティ時に既に登録をしていただいた皆様には失礼をお許しください。



#### <メールアドレス登録の方法>

#### ① 事務局担当 (OB会幹事長) にメールをください。 ② SWVOB会ホームページの「お問い合わせ」にてメールをください。

1974年卒(昭和49年) 羽持 彰  
akira509@green.ocn.ne.jp  
電話 090-4915-0938

ホームページお問い合わせ  
<http://swvob.com/contact>

\*メールアドレスは携帯(ガラケー)やスマホのアドレスでも結構です。  
\*どれも不明の場合は携帯電話番号をお知らせください。

## 2018年度 SWV OB会 総会のご案内

SWV OB会総会を次の通り開催いたします。皆様、ぜひ同期同士で声を掛け合って、奮ってご出席ください。

記

◆ 日 時：2018年6月9日(土) 午後3時～午後5時

◆ 会 場：埼玉大学 サークル会館 大会議室  
埼玉県さいたま市桜区下大久保255

◆ 議事次第：1.開会  
2.会長挨拶  
3.議長選出  
4.議案審議

第1号議案 2017年度活動報告 / 第2号議案 2017年度会計報告

第3号議案 2018年度活動計画 / 第4号議案 2018年度予算(案)

第5号議案 役員選出 / 第6号議案 二居山小屋譲渡の件

第7号議案 山小屋関連報告(二居山小屋の今後)

5.報告事項  
6.その他連絡

\*ぜひ、次期役員の立候補をお願いいたします。

なお、会場は「土足厳禁」とのことです。スリッパもしくは上履きのご持参をおすすめいたします。

総会終了後、懇親会を予定しています。併せてご出席くださいますようお願い申し上げます。

懇親会については、総会出席者へ後日ご連絡いたします。

ご多用中、お手数ですが、ご出欠を6月1日(金)までに羽持彰に返信くださいますようお願い申し上げます。

返信先 羽持 彰

返信用メールアドレス akira509@green.ocn.ne.jp

FAX送信先 048-229-6418

以上

### ——2018年度 総会ご出欠連絡票——

6月9日(土)開催の OB総会に	<input type="radio"/> 出席・ <input type="radio"/> 欠席する。	昭	平	年	卒業年次
お名前	(旧姓: )	Eメール アドレス	ご自宅 ----- ご勤務先		
ご住所 (住所変更 有・無)	<input type="text"/>				
通信欄	☎ ( ) /携帯電話 ( )				